

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公開番号】特開 2000-244851 (P2000-244851A)  
 【公開日】平成 12 年 9 月 8 日 (2000.9.8)  
 【出願番号】特願 平 11-39579  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N 5/76 (2006.01)**

**H 0 4 N 1/387 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N 5/76 E

H 0 4 N 1/387

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 2 月 17 日 (2006.2.17)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】  $m$  フレーム目から  $(m + n)$  フレーム目までの連続した  $(n + 1)$  枚分 ( $m, n$  は任意の自然数) の画像情報の特徴量を評価し、その評価結果に基づいて  $(n + 1)$  枚の中から第 1 の画像情報を選択する評価選択手段と、

上記第 1 の画像情報以外の  $n$  枚の画像情報について、それぞれ第 1 の画像情報に対する動きベクトルを演算する演算手段と、

上記演算結果に基づいて、上記  $(n + 1)$  枚の画像情報を合成して一枚の画像を形成する合成手段とを備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】 上記特徴量は、画像のエッジ情報であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】 上記評価選択手段は、画像のエッジを抽出するフィルタ手段を有し、そのフィルタリング後のエッジ抽出情報に基づいて評価することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】 上記評価選択手段は、上記特徴量に加え、上記画像情報の時間的な相関から第 1 の画像情報を選択することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】  $m$  フレーム目から  $(m + n)$  フレーム目までの連続した  $(n + 1)$  枚分 ( $m, n$  は任意の自然数) の画像情報の特徴量を評価し、その評価結果に基づいて  $(n + 1)$  枚の中から第 1 の画像情報を選択する評価選択工程と、

上記第 1 の画像情報以外の  $n$  枚の画像情報について、それぞれ第 1 の画像情報に対する動きベクトルを演算する演算工程と、

上記演算結果に基づいて、上記  $(n + 1)$  枚の画像情報を合成して一枚の画像を形成する合成工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 6】  $m$  フレーム目から  $(m + n)$  フレーム目までの連続した  $(n + 1)$  枚分 ( $m, n$  は任意の自然数) の画像情報の特徴量を評価し、その評価結果に基づいて  $(n + 1)$  枚の中から第 1 の画像情報を選択する評価選択処理と、

上記第 1 の画像情報以外の  $n$  枚の画像情報について、それぞれ第 1 の画像情報に対する動きベクトルを演算する演算処理と、

上記演算結果に基づいて、上記  $(n + 1)$  枚の画像情報を合成して一枚の画像を形成する合成処理とをコンピュータにて実行させるコンピュータプログラムを記憶したことを特

徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

【課題を解決するための手段】

本発明の画像処理装置は、 $m$ フレーム目から $(m+n)$ フレーム目までの連続した $(n+1)$ 枚分( $m, n$ は任意の自然数)の画像情報の特徴量を評価し、その評価結果に基づいて $(n+1)$ 枚の中から第1の画像情報を選択する評価選択手段と、上記第1の画像情報以外の $n$ 枚の画像情報について、それぞれ第1の画像情報に対する動きベクトルを演算する演算手段と、上記演算結果に基づいて、上記 $(n+1)$ 枚の画像情報を合成して一枚の画像を形成する合成手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

また、本発明の画像処理方法は、 $m$ フレーム目から $(m+n)$ フレーム目までの連続した $(n+1)$ 枚分( $m, n$ は任意の自然数)の画像情報の特徴量を評価し、その評価結果に基づいて $(n+1)$ 枚の中から第1の画像情報を選択する評価選択工程と、上記第1の画像情報以外の $n$ 枚の画像情報について、それぞれ第1の画像情報に対する動きベクトルを演算する演算工程と、上記演算結果に基づいて、上記 $(n+1)$ 枚の画像情報を合成して一枚の画像を形成する合成工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

また、本発明のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、 $m$ フレーム目から $(m+n)$ フレーム目までの連続した $(n+1)$ 枚分( $m, n$ は任意の自然数)の画像情報の特徴量を評価し、その評価結果に基づいて $(n+1)$ 枚の中から第1の画像情報を選択する評価選択処理と、上記第1の画像情報以外の $n$ 枚の画像情報について、それぞれ第1の画像情報に対する動きベクトルを演算する演算処理と、上記演算結果に基づいて、上記 $(n+1)$ 枚の画像情報を合成して一枚の画像を形成する合成処理とをコンピュータにて実行させるコンピュータプログラムを記憶したことを特徴とする。